

DARC 活動報告



地域連携

メッセージ	国立精神・神経医療研究センター病院 立川拘置所 少年鑑別所 東京保護観察所立川支部 東京保護観察所 豊島Day by Day 等	158
相談援助	更生保護施設（自愛会・紫翠苑） 少年院 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 等	60
会議	国立精神・神経医療研究センター病院・ケース会議 駒木野病院連携会議 マック・ダルク会議 等	37
セミナー	八王子ダルクセミナー（主催） 若者事例検討会（主催）	15

一次予防

39	小学校 1 中学校 25 高校 11 大学 2	学校講演
15	麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動都民大会 東京都依存症対策普及啓発フォーラム 等	その他 講師派遣

地域貢献

実習	創価大学 帝京大学 日本女子大学 司法修習生 メンタルケア協議会 更生保護施設・自愛会 等	9
見学	東京保護観察所立川支部 北多摩保護司会 タイ・大学研究者 インドネシア大学 等	4
ボランティア	NCNP・開封作業ボランティア 社会を明るくする運動 大沢町会夏祭り 恩方市民センターまつり 恩方ベースボランティア 恩方クリスマスコンサート 等	7

特定非営利活動法人
八王子ダルク

<https://8oji-darc.org>

TEL 042-686-3988
Mail info@8oji-darc.org

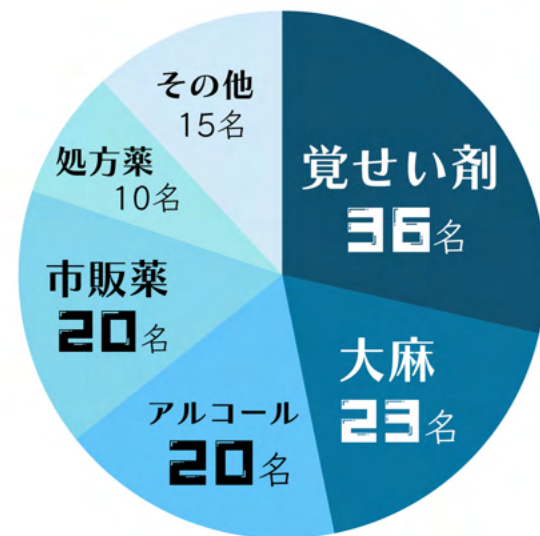
八王子ダルク 実績 2024年度



相談事業

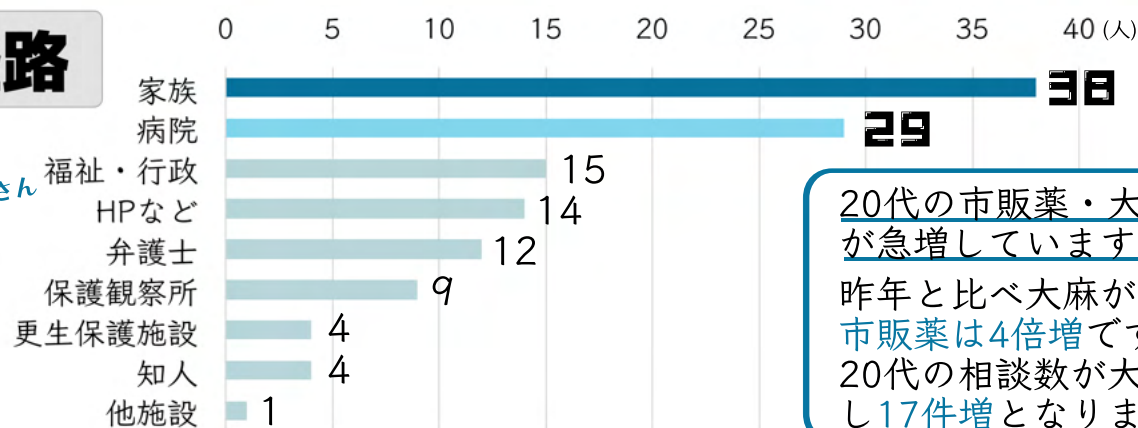
新規相談者 **126名**
(電話55名 来所71名)

10代	8名	50代	14名
20代	42名	60代	7名
30代	26名	70代	1名
40代	26名	不明	2名



相談経路

行政・福祉、弁護士さん
からも相談倍増！



20代の市販薬・大麻の相談が急増しています。
昨年と比べ大麻が約2倍、市販薬は4倍増です。
20代の相談数が大きく変化し17件増となりました。

家族支援事業

~家族のための相談所~

SMILE

個別相談件数 **190名**
(新規32名)

対面101名 zoom89名

グループ参加者数 **333名**

- ・家族心理グループ **251名**
- ・併存障害をもつご本人の親のグループ 51名
- ・父親のグループ 31名



年間5回開催！

八王子ダルク 家族会

参加数 **121名**

家族の相談件数は特に多いです。
ご本人と身近な家族への影響がとて
も大きいことが分かります。

継続的な相談やグループワークを通し、
多くの家族が安心して本人との関わりを
続けています。

家族の理解により、本人が安心して回復に
繋がるケースが増えていると感じます。



生活訓練事業

実利用者数 **35名**
(新規12名)

入寮16名 通所 **19名**

女性 **9名**

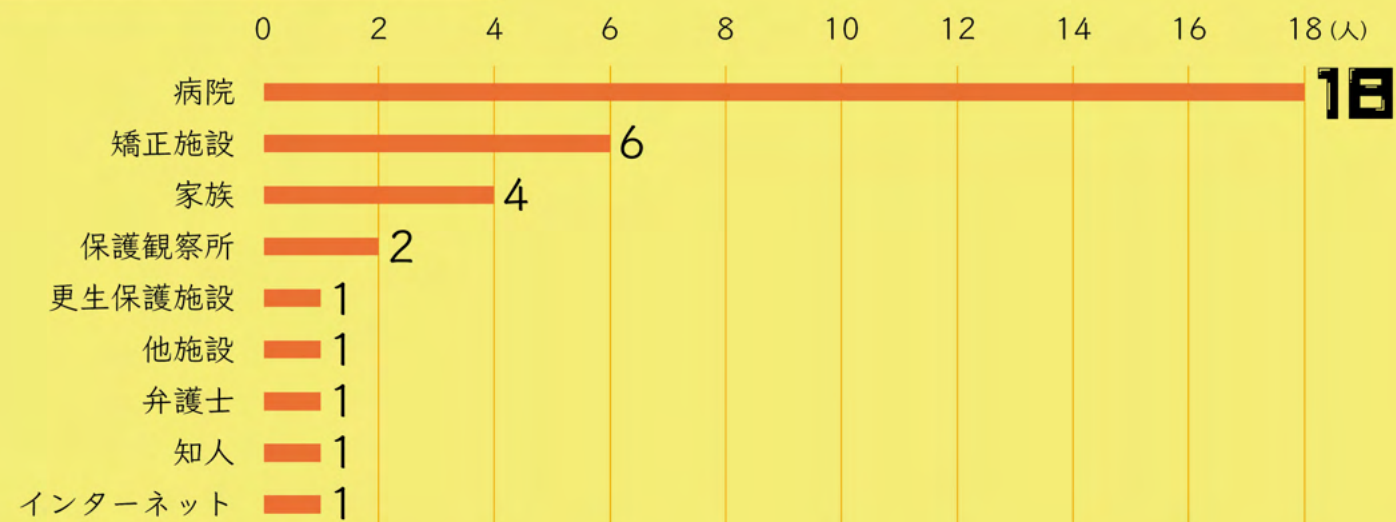


八王子ダルクは通所利用者が多いことが特徴です。

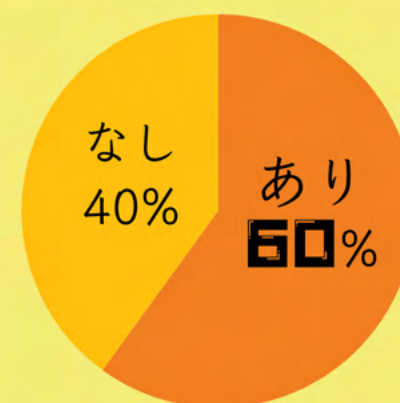
様々な理由で入寮できない人が、段階的に回復に関わっていくことができます。特に生活上の困難を抱えやすい女性通所者の利用が継続しています。



利用に至る経路



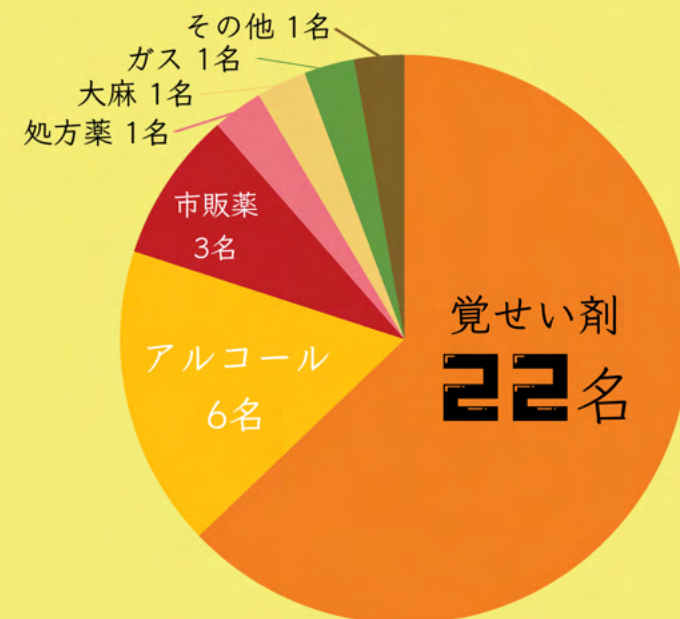
併存障害の有無



主な障がい
うつ 発達障害 統合失調症 など

約6割の利用者に併存障害が見られます。その人本来の生きづらさを知り、医療や地域と連携が依存症支援には欠かせないことが分かります。

主な依存物質



退寮後の進路

退寮者 **6名**

3名が居宅生活を開始。通所を継続しながら、自立生活を送っています。

3名は他施設への移動や入院を介し、次の回復の段階へと移行。

※障害福祉サービス登録者のみ